

2024年4月22日

生成 AI 活用に向けた実証実験の開始について

京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠）は、日本電気株式会社（取締役 代表執行役社長兼 CEO 森田 隆之、以下「NEC」）が提供する生成 AI サービス「NEC Generative AI Service」を導入いたします。本サービスで提供される「Microsoft Azure OpenAI Service」（※）や「NEC Generative AI Framework」を活用し、職員約 200 名を対象に生成 AI の業務適用に向けた実証実験を本年 4 月 22 日より開始いたします。

本実証では、職員からの事務規程等の問い合わせ対応や業務上の文書作成・要約などに生成 AI を活用します。本実証を通じて生成 AI の特性や利便性の理解を深めるとともに、今後の生成 AI の活用方法やプロンプト整備などを検討します。

今回の実証から得られた成果を踏まえ、各種業務システムとの連携による利便性の向上や、NEC が開発した高い日本語性能を有する軽量な LLM (Large Language Model : 大規模言語モデル) 「cotomi」の導入などを検討していく予定です。

当金庫は、今後もデジタル時代における競争力の維持・強化を図るべく、「DX 戦略」に基づいて、業務効率化やお客さま体験と営業活動の高度化など DX への挑戦を進めてまいります。

記

◆ 「生成 AI」の利用概要

実証実験期間	2024年4月22日（月）～2024年8月末（予定）
実施内容	生成 AI の特性・利便性の理解習得や、今後の活用方法、ユースケースの検証などの実証実験を行い、庫内業務を中心に生成 AI 環境を活用していきます。
活用する業務（予定）	・ 庫内業務などの問い合わせ ・ 業務上の文書作成、要約、翻訳 ・ マクロやプログラムなどのコード作成 など

（※）「Microsoft Azure OpenAI Service」は、生成 AI をクラウド上で利用できるサービスで、厳格なセキュリティ基準のもと運用されており、入出力情報を適切に管理して二次利用されることなく AI を活用することができます。また、利用にあたってのガイドラインを定めるとともに、法令・諸規定を遵守の上、適切に対応いたします。

以上